

おしえて！ はかせ

しりょうかん 資料館の「はかせ」たちはとってもものしり！
むかし どうぐ つか かた おも で
昔の道具の使い方や思い出をおしえてもらおう。

※学校向け DVD に道具を使う様子の動画が収録されています。



じゅわき
受話器

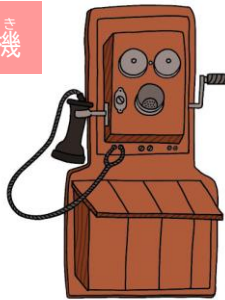
ゆびど
指止め
ダイヤル

くろでんわ しきでんわき しょうわじだい 黒電話(ダイヤル式電話機) 【昭和時代】

めいじ ねん 1876)年、アメリカでアレキサンダー・グラハム・ベルが電話を発明しました。
その後、たくさんの工夫が重ねられて形もしくみも変わっていき、昭和8(1933)年
に日本初の黒電話が登場。家庭でも 1950年代~1970年代にかけて使われました。
黒電話より昔には「磁石式電話機」がありましたが、話したい相手に直接つながるの
ではなく、電話局で働く「交換手」という人につないでもらっていました。
黒電話を使う時は、受話器を持ち上げてからダイヤルの穴に指を入れて時計回りに回す⇒指止めに当たったら指を
はなす…。これをくり返して、1つずつ番号を入力します。
数字が書かれたボタンをおして番号を入力する「プッシュ式電話機」が登場したのは、昭和44(1969)年です。

じしゃくしき
磁石式かべかけ電話機

じゅわき も あ
受話器を持ち上げてハンド
ルを回すと電話局の交換手
につながります。部屋の壁
に取りつけて使いました。



ハンドル

じしゃくしきたくじょうでんわき
磁石式卓上電話機



ハンドル

しきでんわき
プッシュ式電話機



ボタン

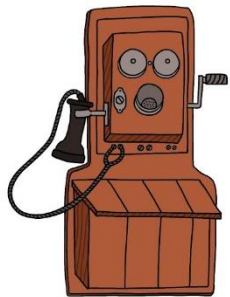
いわさき
岩崎はかせ



なつかしいですね。私が小さい頃…今から50年くらい前
ですかね。よく使っていました。
今は携帯電話(スマートフォン)を使うことが多いですが、
昔はこんな電話を使っていたんです。

じゅわき も あ
受話器を持ち上げてから、ダイヤルを回して相手の番号を入力します。
ときどき ばんごう とちゆう まわ
時々、番号をまちがえたり、途中で回すのをやめてしまったりするとつながりませんでした。
ほんとう
本当につながるかどうか、ドキドキドキしながらダイヤルを回していました。
もしかしたら、みなさんの学校…校長室などにまだ置いてあるかもしれませんね！

[Q1] 次のA~Dの電話はそれぞれ何という名前でしょうか？
古いものから順番に名前を書きましょう。



① () 式 () 電話機



() 式 () 電話機



③ () 式電話機

※「黒電話」とも呼ばれた



() 式電話機

②



④



[Q2] 日本初の黒電話が登場したのはいつでしょうか？
次のA~Cのうち、正しいものに○をつけましょう。

(A) 明治9 (1876) 年 (B) 昭和8 (1933) 年 (C) 昭和44 (1969) 年

[Q3] 電話局で線をつなぐ仕事をしていた人は何と呼ばれたでしょう？
次のA~Dのうち、正しいものに○をつけましょう。

(A) 回線手 (B) 運転手 (C) 交換手 (D) 接続手

年 組

(1)「電話のうつり変わり」

こたえ [Q1] A— (磁石) 式 (かべかけ) 電話機

B— (磁石) 式 (卓上) 電話機 ※「卓上」とは「机の上」という意味

C— (ダイヤル) 式電話機

D— (プッシュ) 式電話機

[Q2] B

昭和8(1933)年に日本初の黒電話が登場し、家庭でも1950年代～1970年代にかけて使われました。

(A)は世界初の電話機、(C)はプッシュ式電話機が登場した年です。

[Q3] C

話したい相手に直接電話をかけられる「ダイヤル式電話機」(黒電話)が登場するより前は、電話局で働く「交換手」という人が電話をつないでいました。



はっけんメモ